

シリーズ
知って納得！
地域自治区

第9回

13区の地域協議会の活動事例紹介

このシリーズでは、地域自治区制度について、より多くの市民の皆さんから知っていただくため、毎回テーマを絞って紹介していきます。
(このシリーズは、毎月15日号で連載しています)

■問合せ…自治・地域振興課（内線1449、1547）

委員が語る活動の様子

牧区地域協議会
会長 小林哲夫さん



高齢化が進み、各集落で市道の管理が課題となっていることは、私も町内会長をしているので承知していましたし、協議会でも以前に一度市長に意見書を提出したことがあります。

しかし、今回は、聞き取り調査を実施したことによって、その時と比べて、各集落の具体的な悩みを把握した上で、より厳しい現状を踏まえた意見を提出することができました。そして、何より、同じ牧区で暮らしている我々も今まであまり知らなかった集落活性化の取組も把握することができました。

牧区地域協議会
副会長 江口理恵子さん



それぞれの集落の高齢化は、数字だけを見ると、深刻さばかりが目立ちます。

でも、実際に各集落の皆さんと対面し、お話をお聴きした中では、自分たちの集落の市道は、自分たちで何とか管理していかなくてはならないという皆さんの強い思いや、そのためのいろいろな工夫も聞くことができて感動しました。

厳しい現状の中ではありますが、皆さん熱心に集落のことを語ってくださり、とても頼もしく感じましたし、私も力をもらったような気がしました。

委員による集落への聞き取り調査の実施

牧区地域協議会では、高齢化が進んでいる集落の日常生活の維持について審議を行うに当たって、地域の実情をより一層踏まえた審議を行うため、委員が直接各集落へ出向き聞き取り調査を実施しました。

13区の地域協議会では、より充実した審議を行うため、それぞれ創意工夫しながら活動を行っています。今回は牧区地域協議会の活動事例を紹介いたします。

している集落や、その近隣の集落など、話を聞きやすいところで実施しました。

翌8月の会議では、各委員が自らのコメントも交えた聞き取り調査の結果発表と、地域協議会として取り上げて議論すべき課題の抽出を行いました。その結果、高齢化が進んでいる集落では、これまで集落の中で取り組んできた市道の除草などの管理が困難になってきていることについて地域協議会で掘り下げて検討して

いくことになりました。

その後10月には、正副会長が、特に状況が深刻な10集落の町内会長や農家組合長などを対象に改めて聞き取り調査を実施し、12月には、聞き取り調査で把握した地域の現状や、市の管理が望まれる箇所や、地図も添付した意見書を市長に対して提出しました。

活性化に取り組んでいる集落の事例発表の実施

この調査を通じて、各集落の厳しい実情を把握できただけでなく、同区の中では、各集落で様々な活性化に向けた取組が行われていることも把握

握できました。

10月に行われた会議では、区内の4つの集落の方から、それぞれの取組内容を発表していただき、審議の参考になりました。

地域協議会委員の皆さんは、地域の皆さんの声を市政に反映するため、様々な努力や工夫をしています

